

|        |           |         |   |      |      |     |     |      |   |
|--------|-----------|---------|---|------|------|-----|-----|------|---|
| 科目名    | サンスクリット語A |         |   |      |      | 学期  | 通年  |      |   |
| 副題     | サンスクリット初級 |         |   |      | 授業方法 | 講義  | 担当者 | 菊谷竜太 |   |
| ナンバリング | M1-07-008 | 実務経験の有無 | 無 | 関連DP | 1, 4 | 単位数 | 2   | 他    | A |

## 授業の目的と概要

古典サンスクリット文法について語形のなりたちに注目し、基本的な文法書だけでなく工具類の扱いかたを射程に入れ、韻律・シンタククスに関する基礎知識をも修得する。精読する際に詩節を唱えてみることで実際に声に出してサンスクリットに親しむ感覚を身につける。

## 授業の到達目標

初等文法で習う文法規則を実際の古典資料と照らし合わせることによって連声や語形、韻律について正しく理解することができる。テキストやリーダーの指示どおりに文法事項やグロッサリー、注記を参照することで文献学の基礎を学び、作文や読誦を通じて実践的な知識をも身につける。

## 授業計画

### 【前期】

1. ガイダンスならびに前期授業の概要説明
2. 音韻論と連声（サンディ）、問題演習
3. 名詞の変化①（-a 語幹）、問題演習
4. 名詞の変化②（-a 語幹）、問題演習
5. 名詞の変化③（男性-i および-u 語幹、中性、女性の-i および-u 語幹）、問題演習
6. 名詞の変化④（-i および-u 語幹、単音節、-r 語幹、二重母音語幹）、問題演習
7. 名詞の変化⑤（語根語幹、-as-, -is-, -us 語幹）、問題演習
8. 名詞の変化⑥（-ant-, -vant- および -ment 語幹）、問題演習
9. 名詞の変化⑦（-in-, -an-, -van- および -man 語幹）、問題演習
10. 名詞の変化⑧（-vas-, -yas 語幹）、問題演習
11. 名詞の変化⑨（-anc 語幹およびその他の語幹）、問題演習
12. 比較法、問題演習
13. 代名詞、問題演習
14. 数詞、問題演習
15. 試験と総括

### 【後期】

1. ガイダンスならびに後期授業の概要説明
2. 現在語幹①（第一種活用・幹母音語幹、未完了過去、願望法・命令法）、問題演習
3. 現在語幹②（第二種活用・語根型語幹）、問題演習
4. 現在語幹③（第二種活用・重複型語幹）、問題演習
5. 現在語幹④（第二種活用・鼻音挿入型語幹）、問題演習
6. 現在語幹⑤（未来語幹）、問題演習
7. アオリスト語幹、問題演習
8. 完了語幹・受動態、問題演習
9. 二次活用動詞①（使役活用と名詞起源動詞）、問題演習
10. 二次活用動詞②（意欲活用と強意活用）、問題演習
11. 準動詞（動詞的形容詞、不定詞、絶対詞）、問題演習
12. 複合語①（動詞複合語と副詞的複合語、名詞複合語 (Dv)), 問題演習
13. 複合語②（名詞複合語 (TP, KD, BV)), 問題演習
14. シンタククス（統語論）、問題演習
15. 試験と総括

## 準備学習(予習・復習)・時間

事前学習として指示された次回の授業範囲について文法事項を調べ日本語訳を作成すること（90分）。事後学習としてテキストと自分のノートとを読み直し、必要な文法事項や語彙を覚えておくこと（90分）。

## テキスト

J. ゴンダ（著）・鏗淳（翻訳）『サンスクリット語初等文法―練習題、選文、語彙付』東京・春秋社、1989年（書店で購入）

## 参考書・参考資料等

①W. D. Whitney. Sanskrit Grammar. ②同. The Roots, Verb-forms and Primary Derivates of the Sanskrit Language. ③J. S. Speijer. Sanskrit Syntax.

## 学生に対する評価

ミニツペーパーならびに各授業における課題（30%）、期末試験（70%）

## ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) テキストやリーダーに指示された文法事項を忠実に押さえ、グロッサリーや注記を正確に参照することができる。  
 (B) 連声（サンディ）や語形を正しく押さえ、語形を正しく比定することができる。  
 (A) 韻文・散文の平易な文章について正しく理解し、散文で簡単な文章を作ることができる。  
 (S) 韻文で簡単な文章を作ることができる。

## 課題に対するフィードバックの方法

質問や意見について毎回の授業内でフィードバックを行う。

## その他

遅刻3回で1欠席とみなす。授業のおわりに毎回ミニツペーパーの提出を求める。少しでもサンスクリット語に興味をもつ希望者の積極的な参加をもとめるアクティブ・ラーニングである。